

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1025 NO39

校長 伊波喜一

空抜けて 雲白く引く 吸い込まれ 降り注ぐ陽よ 柔らかに満ち

デジタル版でカーペンターズを聴いた時の感激は、忘れられない。
(全くノイズがなく、こんなにきれいな音が出るのか)と驚いた。
そのクリアーな音色は、この世のものとも思えなかった。ところが、
今、レコード針でレコードを聴く人が増えているという。アナログ
盤のレコードは、曲が始まるまでに間があったり、ジージーとノイ
ズが入ったりする。筆者のような熟年にとっては、あのノイズが懐
かしい。逆に若者にとっては、初めて聴くノイズが新鮮に感じられ
るのかも知れない。 菜園を耕す人が増えている。取れた作物を親
しい人に分けて、喜んでいる。いただいた人も、その作物で作った
料理をお返しする。お金であげたり返したりするのではなく、物と
物とを交換する。作物や作品はお金のように簡便ではない。その分、
作り手の思いや個性がにじみ出ている。 ヒトは汗をかく生き物で
ある。汗は過程の別名だ。結果に至る過程でどれだけ汗をかいたか、
それが生きている証でもある。結果に至る道はそれぞれである。回
り道に思えることが、案外、人生を豊かにしているのかも知れない。